

JR貨物による輸送品質改善・更なる役割発揮懇談会 開催趣旨

環境負荷の小さい輸送モードである貨物鉄道は、原油高構造、若年労働力減少下におけるモーダルシフト、企業の環境・省エネルギー行動の受け皿、CO2 排出削減目標達成への貢献など、その社会的使命は益々増大しています。

JR貨物は、様々な改善に取り組んでいますが、安全安定輸送や顧客のニーズへの対応等の面での課題が指摘され、輸送実績も計画よりショートするなど、まだまだ更なる努力をしていく必要があります。このため、JR貨物は、6月を目途に、安全安定輸送のための具体的方策や、ITの活用等により顧客ニーズの高い時間帯の輸送枠を有効活用する方策、顧客業種別のきめ細かなサービスの展開等を盛り込んだ「JR貨物による輸送品質改善アクションプラン」を策定することとしています。

他方、限られた輸送力を最大活用して更なる貢献をしていくためには、鉄道貨物利用になじみの少なかった業界への呼びかけを行っていくとともに、急がない荷物の土日を含めた「オフピーク」輸送促進や見込み予約等抑制への協力など、荷主業界や通運業界にも協力を求めていく必要があります。

こうしたことから、今般、荷主業界、通運業界等の関係業界に呼びかけて「原油高構造・若年労働者減少構造下の物流におけるJR貨物による輸送品質改善及び更なる役割発揮のための懇談会 ～企業の環境行動やモーダルシフトの担い手として～」（略称:「JR貨物による輸送品質改善・更なる役割発揮懇談会」）を開催し、JR貨物の輸送品質改善アクションプラン案を基にした意見交換、改善要望、協力要請等を含む議論を行い、これらの意見を反映して同アクションプランをより内容の充実した実効性のあるものにしていく後押しをすることとした次第です。